

若者に夢と希望を与える次世代リーダーを表彰 第6回『若者力大賞』受賞者決定のお知らせ

公益財団法人日本ユースリーダー協会（本部：東京都港区・会長：三村明夫・昭和44年設立）

(<http://www.youthleader.or.jp/>) は、第6回『若者力大賞』の受賞者を決定いたしました。

表彰式は、下記のとおり、明年1月28日（水）に開催いたします。

当日のご取材につきまして、何とぞご出席を賜りたくご案内申し上げます。

なお、表彰式には一般の方々の参加を募っております。本表彰式の社会性を鑑み、読者や視聴者の方々へのご案内につきまして、ぜひ、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

『若者力大賞』は、若者ならではのパワーと使命と行動力をもって、社会のための貢献活動に取り組んでいる20代・30代の次世代リーダー、及び、その指導者（個人・団体）を表彰することにより、次世代育成に対する社会的な関心を高め、同時に次に続く若い世代に、夢と希望とを与えることを目的として、平成21年度からスタートいたしました。

協会創立45年目を迎える今年も、すばらしい活躍の5名（組）の受賞者を表彰いたします。

『第6回 若者力大賞』 表彰式・交流会

日時：2015年1月28日（水） 17:00～19:30（報道受付開始16:30～）

会場：ハリウッドホール（東京都港区六本木6-4-1 六本木ヒルズハリウッドプラザ5階）

内容：表彰式 17:00～18:20

審査委員長挨拶 三村明夫・当協会会長

表彰式 ①<ユースリーダー賞>

②<ユースリーダー支援賞（個人・団体）>

③<若者力大賞>

交流会 18:30～19:30

参加費：会員・一般 5,000円 学生：2,000円 ※報道関係者の方はご招待
（参加費は、当日、会場受付にて申し受けます。）

申込み：ホームページ (<http://www.youthleader.or.jp/>) からお申込みいただけます。

FAXもしくはe-mailでもお申し込みいただけます。

※なお、定員(300名)になり次第、締め切らせていただきます。

公益財団法人日本ユースリーダー協会

107-0052 東京都港区赤坂1-1-14 NOF溜池ビル

TEL：03-6441-0581

FAX：03-6441-0582

メール：day@youthleader.or.jp

（担当：加藤・丸山）

第6回 若者力大賞 受賞者一覧

(敬称略)

◇若者力大賞 (1名)

道端 ジェシカ (みちばた じえしか) / モデル・30歳



1984年10月生まれ。モデル。
長年 UNICEF (国連児童基金) に募金を続けていた母親の想いを受けて、社会人になると同時に社会貢献活動を始めた。
モデルとして活動する傍ら、国連 UNHCR 協会の「毎月倶楽部」に参加し(毎月自分が決めた額を寄付するというもの)、協会を通じてネパールのブータン難民キャンプを訪問。
国際協力をすることに気恥ずかしさを感じる日本人が多い中、「誰かのために行動するのは、とってもしんどいしカッコいいこと。そんな経験をもっと多くの人とシェアしたい。」との考えから、海外の多くの難民キャンプに足を運び、肌で感じたことを伝えたいと願っている。
また、初挑戦となったトライアスロンの大会では、「Just Giving」というチャリティーに参加し、難民支援活動への寄付を募る活動を行った。
活動を通して、多くの人に世界の問題やチャリティーに興味を持ってもらい、国際協力の窓口になりたいとの希望を持っている。

◇ユースリーダー賞 (2名)

阿部 真奈 (あべ まな) / 大学生・20歳



1994年7月、宮城県女川町生まれ。慶應義塾大学総合政策学部2年在学中。
東日本大震災の発災直後より、ボランティアの手によって企画・運営されている臨時のFMラジオ局「女川(おながわ)さいが FM」で、初代高校生アナウンサーとして活躍した。
高校1年生時に、東日本大震災に見舞われ、家族と共に避難途中にあの大津波に呑みこまれ、自宅と祖父、母親など家族をいっぺんに失った。祖母と二人での避難所生活で元気を亡くしていたときに、立ち上がったばかりのFM局スタッフから声をかけられたのがキッカケで、町の役に立つならと関わることになった。
ラジオの経験はなかったが、自らも被災し、痛みを受けた経験と、高校の演劇部で活動していた度胸を生かして、積極的に避難所や仮設住宅などで、町民の声を拾うインタビューを行い、若者パワーで元気を与えただけでなく、同時に自らも笑顔と勇気もらった。
今もFM局は、復興へ向かう中とはいえ、分断されている地域の人々をラジオがつなぐ役割を果たしたいと活動を続けており、進学のため、上京したあとも後輩の高校生アナウンサー達を指導するなど、東京からサポートを続けている傍ら、自身も、あの震災を当事者として経験した立場から伝えられるアナウンサー、レポーターになりたいと勉強に励んでいる。

◇ユースリーダー賞

慎 泰俊 (しん てじゅん) / (NPO) Living in Peace代表・33歳



1981年東京生まれ。朝鮮大学政治経済学部法律学科、早稲田大学大学院ファイナンス研究科修了。2006年よりモルガン・スタンレー・キャピタル、ユニゾン・キャピタルといった投資ファンドに勤務する傍ら、2007年に特定非営利活動法人Living in Peaceを設立。投資のプロとして様々な事業分析・投資実行・投資先の経営に関与する傍ら、機会の平等の提供による貧困の撲滅を目指し、国際的な活動では、マイクロファイナンス(銀行融資を受けられない貧困層の人々を対象とした各種金融サービス)、国内では教育に特化したプロジェクトチームを組成。社会人を中心に60名以上のチームメンバーが参加している。近年、国内では、児童養護施設向けの寄付プログラム「Chance Maker(チャンスメーカー)」の実施および子供向けのキャリアセッションを行っている。

◇ユースリーダー支援賞(個人部門)

岡本 正 (おかもと ただし) / 弁護士・35歳



1979年生まれ。神奈川県鎌倉市出身。岡本正総合法律事務所所長。弁護士。2001年慶應義塾大学法学部法律学科卒業。2003年弁護士登録。マンション管理士、医療経営士などの資格も活かし、企業、個人、パブリックセクターに幅広くリーガルサービスやコンサルタントを実施。東日本大震災後に法律家が被災地等で実施した無料法律相談、すなわち、被災者や企業の生の声やニーズの集約と解析による真のニーズの可視化を提言。当時内閣府行政刷新会議事務局に上席政策調査員として勤務していたが、同時に日本弁護士連合会の災害対策本部室長にも就任。視覚化した被災地のリーガルニーズをもとに既存の法制度限界を指摘し、数々の復興や災害対策の制度改正や新規立法に関与した。とりまとめた相談データは1年で4万件を超えるものとなる。経験をもとに、「災害復興法学」という新しい政策学を提唱。弁護士業の傍ら2012年に慶應義塾大学法科大学院等で講義を開始。2013年には34歳で中央大学大学院公共政策研究科客員教授に就任。「災害後に生き残るための知恵」「防災をじぶんごとにする」「中小企業の事業継続計画(BCP)と従業員育成」「地域の個人情報利活用」「都市防災とマンションコミュニティ」「官民連携による情報伝達」など、巨大災害に備える新しい防災教育・危機管理のデザイン構築と人材育成に、大学、企業、行政などと取り組むことを目指す。2013年より公益財団法人東日本大震災復興支援財団理事等も務めている。経験や成果の一部を書籍「災害復興法学」(慶應義塾大学出版会、2014年9月)としてとりまとめ、未来の担い手の育成に更に力を入れる。

◇ユースリーダー支援賞(団体部門)

大嶽部屋(大嶽 忠博)(おおたけべや)(おおたけ ただひろ) / 相撲部屋



日本文化の伝統として、また国技としてその規律や指導に厳しい相撲の世界で、異文化の壁を越えて、エジプト出身の大相撲力士・大砂嵐を受け入れた大嶽部屋。(2004年に大鵬部屋から改称。)イスラム教の教えからラマダン月のおよそ1か月間、日中(日の出から日没まで)は飲食を絶つという宗教的な生活習慣をもつ新弟子の入門である。これまでにない異文化の違いを受け入れることに大嶽親方は挑戦し、部屋の若い力士たちや指導者たちも一丸となって大砂嵐を関取に育て上げた。「特別なことは何もしていない」「まだ道半ば」が口癖の大嶽親方は、1960年9月生まれ、大阪市出身で大鵬部屋所属の元大相撲力士。

参考資料

■ 「公益財団法人日本ユースリーダー協会」について

国際的なユースリーダーの育成を目的に1969年に設立。2012年4月公益財団法人認定。

青少年の育成・支援・啓発などの事業活動を通じて、次代を担う若きリーダーのネットワークづくりを促進。

◇ 協会概要

名称：公益財団法人 日本ユースリーダー協会 (<http://www.youthleader.or.jp/>)

代表者：会長 三村 明夫 (新日鐵住金株式会社 相談役名誉会長)
理事長 井上 義郎 (川崎重工業株式会社 元取締役副社長)

所在地：東京都港区赤坂 1-1-14 NOF 溜池ビル 5階

設立：1969年7月1日 (※公益財団法人：2012年4月1日)

■ 『若者力大賞』 について

◇ 各賞の説明

<若者力大賞>…下記3部門の中から、特に顕著な活動成果をあげている個人又は団体

<ユースリーダー賞>…若者ならではのパワーと使命と行動力をもって、同世代に夢と希望を与えている20代、30代の次世代リーダー

<ユースリーダー支援賞(個人部門・団体部門)>…若者の持つ才能を見出し、守り、伸ばす事で次世代リーダーを育成している優れた指導者又は団体

- ◇ 第1回 <若者力大賞> MISIA (歌手) 田中 将大 (プロ野球選手)
- ◇ 第2回 <若者力大賞> 山口 もえ (タレント) 栗城 史多 (アルピニスト)
- ◇ 第3回 <若者力大賞> 村田 修一 (プロ野球選手)
- ◇ 第4回 <若者力大賞> 平原 綾香 (歌手)
- ◇ 第5回 <若者力大賞> 宇佐美 吉啓 (パフォーマー)

◇ 審査方法および選考基準

自薦他薦による応募の中から、外部有識者を中心とする審査委員会によって選考される。選考基準として、<ユースリーダー賞>では社会的な使命感の強さ、行動力、ユニーク性、将来性、若者への影響力などの項目。<ユースリーダー支援賞>では広く社会での活動、キャリア支援の実績、ユニーク性、波及性などの項目が設定され、客観的かつ厳格に審査される。<若者力大賞>は両賞の中から特に評価の高い活動、実績をあげているリーダーに授与される。

◇ 審査委員 (敬称略)

三村 明夫 新日鐵住金株式会社 相談役名誉会長／当協会・会長 ※審査委員長
西尾 進路 JXホールディングス株式会社 相談役／当協会・副会長
山中 祥弘 学校法人メイ・ウシヤマ学園 理事長
橋本 久美子 橋本龍太郎元首相・令夫人
蛭田 史郎 旭化成株式会社 常任相談役

FAXご返信用紙

FAX 03-6441-0582

『第6回 若者力大賞』表彰式・交流会 出欠のご確認

■開催日時：2015年1月28日（水）17：00～19：30（報道受付開始16：30～）

■開催場所：ハリウッドホール（東京都港区六本木6-4-1 六本木ヒルズハリウッドプラザ5階）

誠にお手数ですが、必要事項をご記入の上、1月20日（火）までにご返信いただけますようお願い申し上げます。

ご出席

ご欠席

撮影：有 無

（ムービー／スチール）

貴社名

貴媒体名

お名前

ご出席予定人数

名様

お電話番号

FAX番号

通信欄

「第6回若者力大賞」表彰式・交流会

●会場案内図

ハリウッドホール（東京都港区六本木 6-4-1 六本木ヒルズハリウッドプラザ5階）



<最寄り駅・最寄りバス停>

●地下鉄

東京メトロ日比谷線「六本木駅」	1 C出口直結
都営地下鉄大江戸線「六本木駅」	3番出口徒歩3分
東京メトロ千代田線「乃木坂駅」	5番出口徒歩6分
東京メトロ南北線「麻布十番駅」	4番出口徒歩8分



●バス

都バス 01系統（渋谷・新橋）	六本木バス停下車1分
港区ちいばす（田町駅前・赤坂見附駅循環）	六本木ヒルズバス停下車0分